

子ども図書研究室だより

できごと

令和元年7月9日(火)、県立美術館講堂にて子ども図書研究室講演会を開催しました。

落合美知子さん(「おはなしとおんがくのちいさいおうち」主宰)をお迎えし、『ことばを育む わらべうた』という演題でお話しいただきました。



(2ページ目にて、概要を紹介しました。)

県立図書館イベント情報

◆新刊児童図書巡回展示

近年の児童書の傾向を勉強しつつ、県内の子どもの読書活動を促進するための事例を紹介します。

日程: 11月6日(水)・会場: 掛川市立中央図書館

(学校図書館関係者向けの内容)

11月8日(金)・会場: 沼津市立図書館

(公立図書館関係者向けの内容)

対象: 県内市町立図書館(含公民館図書室)職員及び小・中学校図書館関係職員で、現在児童図書の選書に実際に携わっている方

内容: 両会場では約 1,000 冊の児童書を手に取ってご覧いただくことができます。

問合せ: 県立中央図書館

TEL: 054-262-1246 FAX: 054-264-4268

県内イベント情報

今年度もグランシップで静岡県図書館大会が開催されます。ぜひご参加ください。

◆静岡県図書館大会

会場: 静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ

日時: 2019年11月18日(月)9:45~15:45

申込: 専用の用紙(県立中央図書館webサイト・県内公共図書館にて配布)に記入し、来館、郵送または FAX で申込み

宛先: 静岡県立中央図書館 企画振興課振興班

〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-1

FAX: 054-264-4268

受付: 9月18日(水)~10月18日(金)

◇大会内での子どもの本に関する分科会

13:45~15:45

第4分科会『児童・YAに対するサービス』

YAの読みたい心に火をつけろ! 「イマドキの子ども」と「本」を繋ぐために、図書館ができること

第3分科会『学校図書館』

やってみよう! ブックトーク授業に使える司書教諭・学校司書の技



静岡県総合教育センター主催

◆みんなでつくろう学校図書館講座

学校図書館には、悩みや課題を抱える子どもたちがやってくる。そのためそこにいる職員には、様々な子どもと向き合うためのコミュニケーションスキルが求められます。現在、特別支援教室専門員としても活躍される講師がみなさんとともに考えたいテーマをお届けします。

講師: 全国 SLA 研究調査部長兼参事 磯部 延之 氏

稲城市立南山小学校 特別支援教室専門員

掛川会場: 9月13日(金) 定員 70名(10時~16時)

会場: 静岡県総合教育センター

富士会場: 9月27日(金) 定員 90名(10時~16時)

会場: 富士市教育プラザ

講義「児童生徒とのコミュニケーションスキルを磨こう」

演習「図書室に子どもを呼ぶ仕掛けをつくろう」

対象: 学校図書館ボランティア、学校図書館関係者、学校図書館に関心がある方、学校司書

【持ち物】 のり・はさみ・新聞1部(なんでもOK) 色鉛筆 or 蛍光ペン(黒色以外)

申込み: 静岡県総合教育センター生涯学習企画課

生涯学習推進班まで

TEL: 0537-24-9715 FAX: 0537-24-9748

MAIL: kouza@manabi.pref.shizuoka.jp

※申し込みは先着順になります。

子ども図書研究室 講演会

今年度は、落合美知子さん(「おはなしとおんがくのちいさいおうち」主宰)をお迎えし、『ことばを育む わらべうた』と題した講演会でお話いただいたことを報告します。わらべうたに伴う手遊びの実演では、隣席のかたとふれあいながらの、ほのぼのとした講演会となりました。そのやさしい語り口で「心地よく穏やかな時間を過ごすことができた」とのご感想が多数寄せられました。



子どもと本をつなぐ仕事を始めたきっかけの石井桃子著『こどもの図書館』(岩波書店 1965 年刊)には、「今こそ想像力が大事」とあるが、今の時代こそいっそう大事と考える。生きものたちはおよそ 40 億年前から、命と命を繋いできた。まさに『だくちるだくちる はじめてのうた』(阪田寛夫著 福音館書店 1993 刊)で表現された世界であり、この講演の原点もここにある。肉声が子どもたちに届くことは、子どもたちの成長に大きな影響を与える。私たち人間は、肉声を通してことばで触れ合うことができる。わらべうたから届く心地よい肉声やことばは、子どもの成長にどのような働きをしているのか。

わらべうたは、子どもが自ら歌い、また大人に歌ってもらいながら伝承されてきた。赤ちゃんは 40cm くらいの視力で生まれくる。それはちょうど母親を見つめ、見つめられながらおっぱいを飲む距離である。身近で目を見てそのまなざしに応え声をかけることをせず、テレビやスマホに子守を任せていたら、赤ちゃんにとって、ことばを獲得するのに大変な時代になってしまう。



DVD(『映像で見る 0・1・2 歳のふれあいうた・あそびうた』付録)の視聴で、「このここのこ かつちんこ」や「いないいないばあ」をしたときの乳幼児の反応や発語の様子を観察すると、語りかけられたことばを聴き、真似ながら獲得していく様子がわかる。わらべうたには応答の型があり、相手と関わりながら、自然にコミュニケーションがとれるようになる。日本のわらべうたは、日本語の特徴で歌われる5音階なので、明治時代に入ってきた西洋音階(7音階)との違いがみられる。また、季節や行事、身体性のある遊びで五感が働き、相手に触れあいながら社会性も身に着いていく。



おはなしかいで、導入や終わりのわらべうたが毎回同じだといっ参加しても安心できて、安定した雰囲気を作る利点がある。例えば導入には、「とけけっこう よがあげた」「おちやをのみにきてください」、親子で楽しむには「にぎりぱっちり」「おてぶしてぶし」「ひとつひばしでやいたもち」、季節の歌には「うさぎうさぎ」、終わりに「さよならあんころもち」などがある。

ことばは、もちろん日常のコミュニケーションの中でも育まれるが、ことばを聴く体験はその後の本を読む土台となる。『3000 万語の格差』(ダナ・サスキンド著 明石書店 2018 刊)では、3歳までに親や保育者が語りかけることばが多いと、あかちゃんの脳を作り心を豊かにすると記されている。

乳幼児に対するとき、声の根っこに子どもを愛する気持ちをぜひ大切にしてほしい。ことば獲得の段階にある子どもに、絵本とわらべうたで豊かなことばを届け、おはなしかいでは、これらを組み合わせ、子どもと身近な方を繋いでいただきたい。

(文責 宮崎)

参考資料

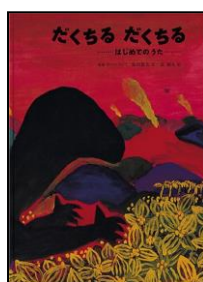
一般書

『映像で見る 0・1・2 歳のふれあいうた・あそびうた』
DVD BOOK
汐見稔幸/監修 エイデル研究所
2007 年



絵本

『だくちるだくちる はじめてのうた』
V・ベレストフ/原案
阪田寛夫/文 長新太/絵
福音館書店 1993 年



静岡県立中央図書館所蔵 地域学習に役立つ図書リスト &分冊図書リストの発行

当館では、静岡県や県内自治体に関すること、静岡県出身者によって書かれた本、また県内各自治体が刊行した行政資料等を、地域資料として広く収集し、保存・提供しています。そうした地域資料のうち、小学生や中学生が利用しやすい平易な文章で書かれた資料、各市町の統計データなどの基礎的な資料を、「地域学習に役立つ図書」として登録しています。

このような「地域学習に役立つ図書」をまとめたブックリストを、『静岡県立中央図書館所蔵 地域学習に役立つ図書リスト』として、令和元年7月26日に、5年ぶりに改訂・発行しました。

今回発行した図書リストでは、令和元年6月末日までに当館で受入した地域学習に役立つ図書を掲載しています。また従来の NDC 順の図書リストに加えて、今回はテーマ別の分冊資料を作成しました。

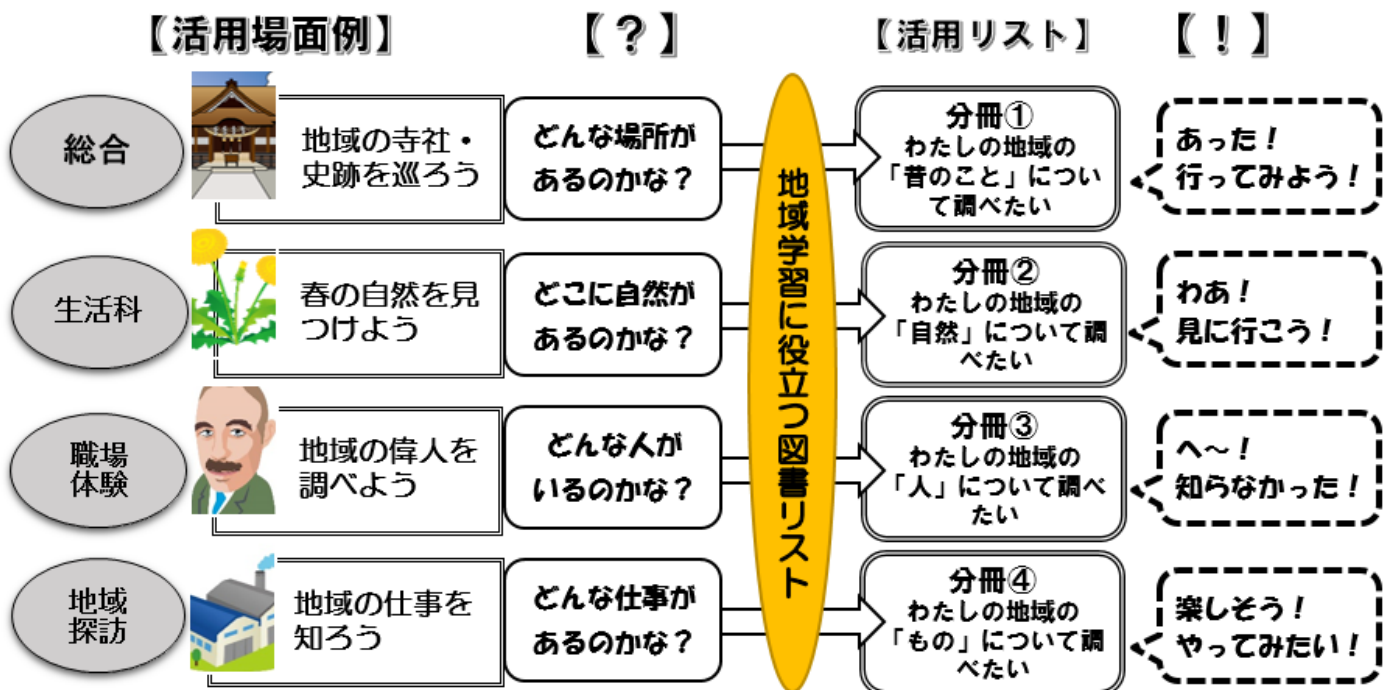
テーマ別の分冊資料は、小中学校の地域学習等で取り上げられることが多いと思われる次の5つのテーマ

- ①地域の歴史や史跡・文化財などをテーマにした『わたしの地域の「昔のこと」について調べたい』、
 - ②地域の環境やそこに住む生物、富士山などをテーマにした『わたしの地域の「自然」について調べたい』、
 - ③地域出身の偉人の伝記、県出身者の著作などを取り上げた『わたしの地域の「人」について調べたい』、
 - ④地域の産業や仕事、特産についての図書を掲載した『わたしの地域の「もの」について調べたい』、
 - ⑤地域の行政や防災、戦争被害等をまとめた『わたしの地域の「いろいろなこと」について調べたい』
- の図書リストです。

『地域学習に役立つ図書リスト』及び『分冊図書リスト』については、県内の各市町立図書館をはじめ、県内小中学校・特別支援学校の図書室に配布しています。また当館 HP から、冊子にしやすい PDF 版と、検索・加工のしやすい Excel 版を、誰でも自由にダウンロードできるようにしています。

当館では、『地域学習に役立つ図書リスト』の発行のほか、児童・生徒の素朴な疑問解決や教職員の調べ物のためのレファレンス対応、当館の資料を最寄りの図書館経由での貸出・受取など、地域学習支援を行っています。図書リストと合せて、御活用ください。(地域調査班)

「地域学習に役立つリスト」はこんな風に活用できます



リストは PDF (冊子) と Excel データがあります。

グループ活動には冊子を、資料検索やリストの加工には Excel データをご活用ください。

新着資料から

知識



『うまれたよ！
タコ』

櫻井季己／写真・文
岩崎書店
2019年1月

古いタコツボに産み付けられた卵がふ化するまでの様子を大きな写真で紹介している。巻末では卵や赤ちゃんタコを実物大で案内している。

「よみきかせいきものしゃしんえほん」の1冊。このシリーズは誕生と成長をポイントにしているのので、対象のいきものの全般的な知識を得るにはさらなる資料が必要である。研究室だより80号ではオトシブミを紹介している。

写真と文の櫻井氏は静岡県相良町（現牧之原市）出身。同時に「うまれたよ！イカ」も出版している。

【小学校低学年から】（青山）

絵本



『せんせい』

大場牧夫／ぶん
長新太／え
福音館書店
2019年4月

「ねえ、みんな 知っている？」せんせいって、ときどき うまになったり、オニになったり。おすもうさんやおおかみにもなる。でも、本当のおかあさんやこどもだったりもするよ。いろいろな役割で、いつも一緒に遊んでくれるやさしいわたしたちの先生を、こぶたぐみのみんなはとてもだいすき。

保育園や幼稚園の入園前後に読んでほしい。保育学の著書を多数もつ著者の暖かさも伝わる。かがくのとも50周年記念出版（初版「かがくのとも 277号」1992年4月刊）

【4歳から】（宮崎）

絵本



『とりになった
きょうりゅうの
はなし 改訂版』

大島英太郎／作
福音館書店
2019年2月

絶滅したと思われている恐竜は、姿を変えて私たちの近くで生きていた。

恐竜と一括りに言っても多種多様な種類があり、その中には小さなもの、羽毛や翼を持つものもいた。恐竜は絶滅したが「翼を持ち飛ぶことの出来る恐竜」の子孫だけは生き残り、今でも「鳥」と呼ばれ空を舞っている。

新しく発見された羽毛恐竜の化石を元に、最新研究を反映させて推測できる羽の色や模様イラストを修正して、解説文も新しくなっている。

【小学校低学年から】（水井）

絵本



『あそびうたするもの
よっといで』

中脇初枝／編
ひろせべに／絵
福音館書店
2019年4月

「いっぽんばし こーちょこちょ たたいて つねって…」「なまむぎ なまごめ なまたまご」多くの大人にとって子どもの頃から親しみのある「てあそびうた」「はやくちうた」、「えかきうた」など時代を越えて伝えられてきたあそびうた42種類を収録。気に入った部分だけでも読め、子どもと一緒に遊べそう。ユーモアのある絵だがもう少し子どもに親しみやすい絵であればより良かった。巻末に遊び方解説あり。『あそびうたするものこのゆびとまれ』も同時刊行。

【5、6歳から】（眞子）